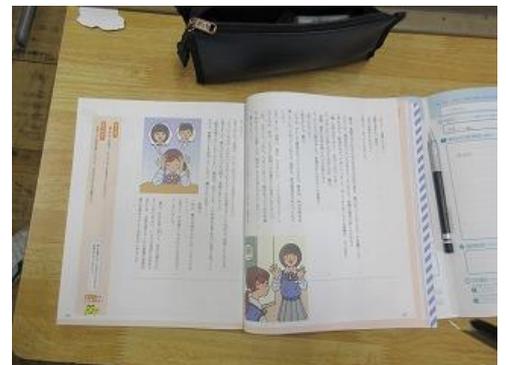


令和8年1月26日(月)



先週は、木曜日から土曜日にかけて私立高校入試が行われました。3年生の先生方は、不測の事態に備えるために日の出前から学校に待機していました。初日に電車の遅延があり、ヒヤリとしましたが、大きな事故等もなく、3日間の試験が無事に終わりました。一番ホッとしているのは、受験生本人だと思いますが、受験生を見守る保護者の皆様や教職員もホッとしているところです。これから合否が発表され、それぞれの想いが交錯することでしょう。また、県立高校の受検を控えている生徒は、さらに1か月間の正念場が続きます。健康に気を付け、そして仲間と励まし合い、お互いの気持ちを尊重しながら、日々を過ごしてほしいと思います。

先日、3年生が道德の授業で、受験に関わる教材を扱いました。「合格通知」という題名の読み物です。主人公の舞は、志望している高校に合格します。嬉しさのあまり、合格通知をスマホで写真を撮り、親友の美穂へその写真をメッセージとともに送信しました。美穂は、自分のことのように喜んでくれました。翌日、級友の隆から「人の気持ちを考える。合格を自慢するな。」と詰め寄られます。同じ高校を受験した隆は不合格だったのです。舞は、自分が合格したことを美穂にしか伝えていないのに、なぜ隆に伝わっているのか不思議に思いました。実は、美穂が、舞の合格通知の写真をSNSに投稿していたのでした。美穂はまったく悪気がなく、また隆には誤解されている状況で、舞はどうしてよいのか悩んでしまいました。



いかにも起こりそうな話です。全く同じではないにしろ、似たような事案でトラブルに発展することは、珍しいことではありません。生徒たちは、自分事として考えていました。正論でいえば、不用意に写真を親友に送信した舞の行動は浅はかです。また、それを本人に承諾なくSNSに投稿する美穂の行動は、さらに浅はかです。生徒たちの多くは、「舞と美穂がそろって隆に謝るべき」といった意見を述べていましたが、さて、自分に同様のことが起こったときに、どう行動できるでしょうか。

3年生が入試でがんばっている間、生徒朝会で3年生を送る会の決起集会が行われました。実行委員の生徒が進行をつとめ、1年生と2年生の出し物や事前準備について説明が行われました。今年のスローガンは、「輝け3年生～3年間のキセキと共に～」です。3年生への感謝の気持ちを伝えられ、思い出に残る会になることを期待しています。

